

衆議院安全保障委員会ニュース

平成 23.5.19 第 177 回国会第 5 号

5 月 19 日（木）第 5 回の委員会が開かれました。

1 派遣委員からの報告聴取

- ・東日本大震災における自衛隊の活動状況等の実情調査のため、宮城県に派遣された委員を代表して、平野委員長から報告を聴取しました。

2 国の安全保障に関する件

- ・松本外務大臣、北澤防衛大臣、小川防衛副大臣、松本防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

福嶋 健一郎君（民主）

- ・「各締約国は、日本国の施政の下にある領域における、いずれか一方に対する武力攻撃が、自国の平和及び安全を危うくするものであることを認め、自国の憲法上の規定及び手続に従って共通の危険に対処するように行動することを宣言する。」と規定する日米安全保障条約第 5 条に基づき行方不明の日米軍に対する攻撃への我が国の対処は、個別的自衛権と整理されているが、集団的自衛権に基づく対米防衛義務はないのか、松本外務大臣の見解を伺いたい。
- ・日米安全保障条約第 5 条については、米国が我が国を防衛する義務を負う規定であると解釈されているが、その解釈の根拠について松本外務大臣の見解を伺いたい。
- ・松本外務大臣及び北澤防衛大臣は、現在の政府の対応で、我が国は尖閣諸島を有効に支配していると認識しているのか。

下村 博文君（自民）

- ・中国本土、台湾、香港及びマカオの民間団体が組織された世界華人保釣連盟が約千隻の船舶で尖閣諸島へ渡航することを計画していたが、松本外務大臣は同計画の現状について、どのように把握しているのか。また、海上保安庁は、このような尖閣諸島周辺への大規模な領海侵犯を阻止することは可能か、海上保安庁に伺いたい。
- ・防衛省防衛研究所の公表した「中国安全保障レポート」は、中国が東シナ海や南シナ海まで軍の活動範囲を拡大しており、今後、自衛隊と人民解放軍との間で不測の事態が発生する可能性は否定できないと指摘していることを踏まえ、防衛省はこのような状況を想定しておくべきと考えるが、北澤防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・中国海軍陸戦隊及び特殊部隊が尖閣諸島への上陸作戦を行おうとした場合、海上保安庁及び自衛隊で対処するこ

とは可能か、海上保安庁及び防衛省に伺いたい。また、領海侵犯罪の新設や海上警備法の制定等の法整備が必要と考えるが、両省の見解を伺いたい。

今津 寛君（自民）

- ・近年自衛隊に対する評価が国内的・国際的に高まっていることを踏まえ、憲法を改正し、自衛隊の存在を「自衛軍」として明確に位置付けるべきと考えるが、北澤防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・震災支援のために海外にあった米軍艦艇が我が国に派遣されたことに関連して、我が国へ支援に向かう米国の艦船が第三国から攻撃を受けた場合、その艦船を防衛するために自衛隊が武力を行使することは可能か、防衛省の見解を伺いたい。
- ・我が国に対するミサイル攻撃を事前に阻止するため、我が国が先制攻撃をすることは憲法上認められているのか、法制局の見解を伺いたい。また、我が国は、敵基地攻撃を行う能力を保有しているのか、北澤防衛大臣に伺いたい。

岩屋 毅君（自民）

- ・自衛隊基地・駐屯地は、災害時に重要な役割を果たすことが期待されているにも関わらず、自家発電装置等が不足しているなど、今回の震災で明らかになった災害に対応する自衛隊の装備・能力等の不足について、北澤防衛大臣はどのような認識を持ち、今後どのような対処をするつもりなのか伺いたい。
- ・米軍の作戦によってテロ組織アルカイダの指導者ウサマ・ビンラディン氏が死亡したことについては、テロとの闘いの観点からは、基本的に歓迎すべきことであるが、米国が他国領域で作戦を行ったことや丸腰の同氏を殺害したことなどに対して国際社会で国際法上の疑義が指摘

されている点について、我が国政府としての公式見解を松本外務大臣に伺いたい。また、アルカイダによる報復テロに対して、同盟国である我が国はどのような対策をしているのか、北澤防衛大臣に伺いたい。

- ・本年5月15日のイワノフ副首相らによる国後島・択捉島訪問をはじめ、近年ロシアが北方領土に対する実効支配を強めており、我が国としては北方領土問題をロシアとの協議の俎上に載せることが対露外交の課題と考えるが、対露外交の基本戦略について松本外務大臣に伺いたい。

佐藤茂樹君（公明）

- ・大型連休を利用した外務省政務3役の外国訪問においては、福島第一原子力発電所事故を受けての過度な輸入規制等の風評被害防止に理解を求めるために、中国、韓国及びインドなどの周辺・近隣諸国に行くべきだったのではないかと、また今後風評被害防止に各国の理解をどのように得ていくつもりか、松本外務大臣に伺いたい。
- ・米軍のトモダチ作戦による支援活動をどのように評価し、我が国として学ぶことは何であると考えているのか、北澤防衛大臣の見解を伺いたい。また、現在検討されている日米共通戦略目標の見直しを行うに当たっては、大規模災害への対応も明記すべきと考えるが、松本外務大臣の見解を伺いたい。
- ・5月17日の参議院外交防衛委員会で、普天間飛行場を2014年までに名護市辺野古に移設するとして日米合意について、期限内に移設を完了させるのは難しいと北澤防衛大臣が発言したのは、在沖縄米海兵隊及びその家族のグアム移転並びに嘉手納飛行場以南の米軍施設・区域の返還も同時に遅れざるを得ないとの認識に基づくものなのか、北澤防衛大臣の真意を伺いたい。

赤嶺政賢君（共産）

- ・米上院軍事委員会のレビン委員長らによる東アジア地域

3 防衛省設置法等の一部を改正する法律案（内閣提出第21号）

- ・北澤防衛大臣から提案理由の説明を聴取しました。

における米軍再編計画の見直しを求める超党派の提言は、多額の経費を要する普天間飛行場の辺野古移設を取り止める代わりに、在沖縄米海兵隊のグアム移転経費の日本側負担を増額することを目的としていると考えるが、北澤防衛大臣の見解を伺いたい。

- ・北澤防衛大臣が、恒常的な空母艦載機離発着訓練施設の鹿児島県馬毛島への設置について検討するよう指示したと報道されているが、事実関係について伺いたい。
- ・ウィキリークスにより、グアムに移転する在沖縄海兵隊員数が水増しされていた事実を示す米公電が暴露されたこと等を踏まえ、「再編実施のための日米のロードマップ」を撤回し、在日米軍再編に関する日米交渉をやり直すべきだと考えるが、北澤防衛大臣の見解を伺いたい

照屋寛徳君（社民）

- ・宜野湾市が、5月16日に、外務省沖縄事務所に申請した「災害準備及び災害対応のための在日米軍の施設及び区域への限定された立入りについての現地実施協定」の締結に向けた松本外務大臣の決意を伺いたい。
- ・北澤防衛大臣は、5月8日の仲井眞沖縄県知事との会談について、記者会見で「非常に良い話し合いができた」との認識を示したが、どのような点を評価してのことか、北澤防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・国頭村安波区の評議委員らが、4月28日、空港の建設や道路網の拡充を条件に普天間飛行場の代替施設を受け入れる要望書を外務省及び防衛省の幹部に手交したと報道されていることの実態について、松本外務大臣及び北澤防衛大臣に伺いたい。